

2008年7月2日  
東日本旅客鉄道株式会社

## 東京駅における環境への取組について

「グループ経営ビジョン2020 - 挑む -」において、地球環境問題への積極的かつ長期的な取り組みのうち、特に地球温暖化防止のための鉄道事業のCO<sub>2</sub>排出量を2030年度までに50%削減(1990年度比)する目標を設定しています。その目標の実現へ向けた具体的な取り組みとして、東京駅の一部ホームの屋根へ太陽光発電パネルを導入します。導入後の実績評価や、今後の太陽光パネルの技術開発動向をにらみつつ、他ホームへの拡大を検討していきます。

東京駅ではこの他、八重洲・丸の内の駅前広場整備について、緑化や舗装材の工夫などによる環境対策を検討しています。

### 概要

今回、以下のホーム屋根全体へ太陽光発電パネルを導入します。

設置ホーム	パネル面積	出力	設置種類
東海道線ホーム(9・10番線ホーム)	約3,000 m <sup>2</sup>	390kW	屋根材一体型

太陽光発電パネルにより発電した電力は、駅の照明や空調等で使用します。

### 概算事業費

約11億円(今後精査)

### スケジュール

年度	2008	2009	2010
設計			使用開始
施工			

### 発電量及びCO<sub>2</sub>削減効果

項目	太陽光発電パネル導入効果	東京駅全体(寄与率)
発電量	約330MWh/年	約98,000MWh/年(0.3%)
CO <sub>2</sub> 削減	約90トン/年	約25,700トン/年(0.3%)

東京駅ホーム屋根の現況写真



東京駅ホーム屋根への太陽光発電パネル設置イメージ図



丸の内駅前広場イメージ図



八重洲駅前広場イメージ図

